

2026年度(令和8年度) 培遠中学校 学校経営方針

社会の状況

- ・超高齢社会の進展
- ・少子化と労働力の不足
- ・デジタル・AI社会
- ・環境と災害
- ・不安定な国際情勢
- ・教職員不足・不登校の増加

保護者・地域の願い

学校教育目標

夢を志にチャレンジ

～たくましく生きる力を身に付け、自らの進路をきり拓き、地域に貢献できる生徒を育てる～

培遠中生徒の願い

- ・誰一人取り残されない
- ・勉強が分かる、できる
- ・自分に自信がもて意欲が出る
- ・自分の考えを表現できる
- ・感謝の気持ちをもつことができる

【めざす学校像】

生徒も保護者も教職員も培遠中学校を誇りに思える学校を目指します

- 1 自分の成長を実感できる学校
 - ・誰一人取り残さず、確かな学びを保障
 - ・様々なことにチャレンジできる
- 2 笑顔で活気にあふれる学校
 - ・自己存在感の感受、共感的人間関係の育成
 - ・自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成
- 3 地域住民の負託に応え、未来に向かって挑戦する学校
 - ・10年後の社会で活躍できる生徒の育成
 - ・ボランティア

【めざす生徒像】

生徒は、培遠中学校を誇りに思い、自他ともに幸せになれるよう考え行動します

- 1 身の回りの事象について、多面的・総合的に考えて課題を見つけることができる(課題発見力)
 - ・自分で問いを立て、知識や情報を収集し有効に活用する
- 2 将来の進路希望に基づいて当面の計画を立て、その達成に向けて努力することができる(論理的思考力)
 - ・自分の将来を見通して計画的に行動する
- 3 チームとしての立場の違いを理解し、お互いを活かしながら協同することができる(コミュニケーション力)
 - ・多様性を認め合い、他者の立場で物事を考える
- 4 苦境に立たされた時に自暴自棄にならず、現状を改善するために努力することができる(粘り強さ)

今年度のキーワード

Pride of Baien

～培遠の誇り～

【本年度の重点目標】 主体的な学びによる思考力・判断力・表現力の育成

～基礎学力の定着・向上と学び続ける力を育成する授業づくり～

- 自分で決める ⇒ 自己決定の意識化、意志決定スキルの向上
- 授業が楽しい・わかる・学んだことが使える ⇒ 「学び」の追求、授業改善、授業スタイル、家庭学習の定着
- 地域に貢献する ⇒ 生徒会・部活動、ボランティア活動、地域活動
- 当たり前のことができる ⇒ 規則正しい生活の確立、「培遠精神」と「タンポポ魂」
- 感謝の気持ちをもつ ⇒ 自己肯定感の向上、良好な人間関係

【めざす教職員像】

培遠中学校の教職員は、生徒が誇りを持てるようサポートに努めます

- 高い倫理観と豊かな人間性
- 子どもに対する教育的愛情と教育に対する使命感
- 専門性を発揮し、的確に職務を遂行
- 社会や子どもの変化に柔軟に対応
- 確かな授業力を身に付ける
- 豊かなコミュニケーション能力を有している
- 新たなものに積極的に挑戦する

<教職員としての心がけ>

- ・前例踏襲ではなく、常に検証・改善・プラスワン思考で思い切ってやめることも必要
- ・情報共有と組織対応
- ・環境の3S「整理」「整頓」「清掃」
- ・褒める3S「すごい(驚き)」「さすが(尊敬)」「すばらしい(優秀)」
- ・ケアの3D「どうしたの?(傾聴)」「どうしたいの?(自己決定を促す)」「先生は、どうすればよい?(支援)」
- ・コンプライアンス意識とマナーの向上

【教育課程経営】

- ①学力の向上・定着 ②豊かな心の育成 ③規則正しい生活の確立 ④家庭・地域との連携・協働の推進

【培遠中学校区の子どもをみんなで育むために】

義務教育9年間を通じた小中一貫教育の充実 地域と共にあるコミュニティ・スクールの取組